

学図研・東京支部 2022 年度活動報告

2023 年 6 月 17 日

【支部会】

今年度の在籍会員数は 70 名、支部会は概ね対面とオンラインを併用しての開催となった。

2022 年 6 月の支部会はオンラインで前年度の総会を行い、2021 年度活動報告と会計報告、また 2022 年度活動方針と予算案が確認された。

7 月の支部会は、8 月に行われる全国大会長野オンライン大会分科会のプレを実践発表者の杉山和芳さんの勤務校（東京都立南多摩中等教育学校図書館）で行った。8 月の支部会は、例年通り実施しなかった。

9 月は、オンラインで支部会員が参加した夏の大会や研修会について情報交換した。また学校司書配置調査の結果や経過についての振り返りを行った。また、4 日に石井光太氏の講演「ルポ 誰が国語力を殺すのか」のオンライン学習会を東京学芸大学附属学校司書部会・東京学芸大学附属世田谷中学校図書館部・日本教育大学協会学校図書館部門との共催で行った。

10 月は、玉川聖学院を会場に土屋知恵さんからの調布市の著作権についての研修会報告、次年度の全国大会分科会の内容の検討と参加者からの日々の活動に関する情報交換を行った。

11 月は、和光高等学校で学校司書配置調査の振り返りと今後の支部会に関する話し合いや情報交換を行った。

12 月は、都立町田総合高等学校を会場に学校司書配置状況調査の方法や手順などについて話し合った。

また、11 月支部会で出た質問に対し、事前に調査チームとしての意見をまとめ、支部会で意見交換を行った。

1 月は杉並区立堀之内小学校を会場に吉田兼一さんを囲んで「書籍編集者の裏話」を聴いた。小学館で編集者として歩んできた道のりと、出版の現場の話をつっぷり伺うことができた。

2 月は、玉川聖学院を会場に学習指導要領や教科書で取り上げられている著作権に関する情報や指導実践事例を持ち寄った。

3 月も玉川聖学院を会場に「東京都の学校司書配置状況調査から私たちは何を見出すのか？」をテーマに村上恭子さんの分析を共有し、読書未来研究所共同代表の田口幹人氏をゲストに迎えて意見交流を行った。

4 月も玉川聖学院を会場に、学校司書配置状況調査用紙の発送準備を行った。また、本調査票を JLA（日本図書館協会）に参考資料として提供することについて協議し、了承することにした。次年度の全国や支部の役員体制や、会員の異動に伴う情報交換などを行った。

5 月は玉川聖学院を会場に「私たちの課題」を検討した。

【全国大会】

全国大会長野大会は 2022 年 8 月にオンライン開催された。

東京支部担当の分科会テーマは「GIGA スクールと学校図書館」。杉山和芳さんが行った実践報告を受けての分科会を行った。実践報告は、授業支援と ICT に関わり、学校全体の取組の柱である探究の授業、生徒図書委員会の活動を活性化して、学校図書館を教育活動の中心となる場へと引き上げていった取り組みに関する内容であった。

分科会前半は、アイスブレイク後に参加者と杉山さんの質疑応答、支部会員の事例発表として佐藤敏子さん」がGIGA端末を活用したミニ探究学習の中学校の事例、宮崎伊豆美さんが電子書籍を活用した小学校の事例、千田つばさんが支部会員の事例として大澤倫子さんの小学校での実践の紹介を行った。

分科会後半はブレイクアウトルームで参加者を6グループに分けて、交流した。グループではGoogle Jamboard 使い、参加者から出された課題と解決策の意見交流、「GIGA 下でより魅力的な学校図書館にするには」についての意見交流を行った。最後に全体でグループ交流の内容を、Jamboard の画面を共有してグループごとの報告を行った。

2023 年度の全国大会関西大会は3年ぶりとなる対面開催が決定している。近年、著作権法の改正があり、また、デジタル化が急速に進む中で著作権侵害や著作物の取り扱いについて社会問題となっていることから著作権教育がますます重要になっていることを鑑みて、東京支部では著作権をテーマに原口直氏を講師に迎えて、分科会を行う準備を進めている。

【役員体制】

支部ニュースは、前田紀子さん、大浦和子さん、関根真理さん、土屋知恵さんの4名の編集委員のもと、月1回発行され、毎回大変充実した内容となった。月例支部会の報告、輪番を基本とした会員の執筆原稿が発信され、会員の実践や動向を知る重要なものとなっている。

会計は二井依里奈さんが担当となり、谷口裕美子さんは会計監査となった。印刷発送・メーリングリスト担当は佐々木愛さん、HPは清水紀子さん、支部代表は佐藤敏子さんが担当した。

全国事務局次長（渉外担当）を鳴川浩子さん、全国一般会計を谷口裕美子さん、全国ニュース編集担当を歌川美歌さん、全国委員は千田つばさんが担当した。

【学校司書配置状況調査】

長年、鈴木久美子さんが一人で行ってきた学校司書配置状況調査を、調査チームを作って引き継ぐことになった。鈴木さんの助言のもと、上田暁子さん、岡田貴子さん、田中美智子さん、宮崎伊豆美さん、安田彩子さんが担当し、電話連絡係として佐藤久栄さん、菊池保夫さんの応援を得て、試行錯誤しながらチームとして初めての調査を完了した。結果は学図研・東京支部のホームページで公開した。

【その他】

「東京・学校図書館スタンプラリー」が、開催され会員の勤務校が複数参加した。他団体との連携では「東京の図書館をもっとよくする会」の世話人として菊池保夫さんを派遣した。

（文責 佐藤敏子）